



ががら山頂上で

第七号(卒業生・修了生を送る特集号)
回答状況: 教職員七、学生三、学外〇

印象

「このような特集にありがちな、通りいつべきが見える。それなりのレベルを持つ文章を

モニター意見

学生寮の閉寮進まず



東広島市への統合移転に伴い、広島市内の山中寮と青雲寮は閉寮することになつてゐるが、青雲寮には依然十二名程度の寮生が残留している模様。今後、各学部で個別に折衝していく予定。

改善点

「紙数等に限られるかもしれないが、毎号とも記事を欲張りすぎるのが詰め込みすぎて読み

「留学生の最後の意見だからかもしれないが、留学生関係の記事が多すぎる」(学生)

「内容的には標準的なものであつたと思う。しかし全体的に『報告書』的な印象を拭えない。興味が持たれやすいテーマをあつかつた場合はそれでもおもしろい内容になるのだが、今は卒業生の投稿があつかつた部分が多かった点を差し引いても、各執筆者がそれぞれ自分のノルマを果たしていた、という感を免れない」(学生)

「興味深かった記事」では、「開かれた学問」がトップで、ほとんどのモニターが挙げていた。ついで、エッセイ(2000字の世界)に人気があり、「フォトエッセイ(東広島キャンパスの自然)」と「大教センターは今」が続いている。

「今後取り上げてみたいテーマ」と「広報委員会への要望」にもたくさんの貴重なご意見をいただきま

した。フォーラム編集の参考にさせていただきます。また複数のモニターから紙質を変えよう、というご指摘がありましたが、検討してみたい

統合移転完了記念事業の収益、広報部会から学長に贈呈

三月二十九日(金)、統合移転完了記念事業実行委員会小委員会の広報部会では、昨秋実施された統合移転完了記念事業のうち同窓生からの寄付による収益のうち一千万円が、教育・研究のための支援にあたるために学長に贈呈された。なお、残額についても、決算が確定次第贈呈される予定。

贈呈式には、当日都台で出席できなかつた難波統二部会長(総合科学部教授)に代わり越智貢報部会委員(文学部助教授)から贈呈された。

ががら山でキャンバスの理想像を語る

ゴールデンウィークの五月一日(火)、生憎の空模様であったが、大雨の降りそぼるなか原田学長をはじめ一行十五名はががら山の頂上まで登り、下山後、生態実験園で学長を囲み、キャンバスの理想像について語り合つた。

この会は環境保全委員会専門委員会が呼びかけたもので、今後のキャンバスづくりの全体コンセプトを「みんなで創る水と緑のエコ・キャンバス」とし、今後、草とギフチョウの舞うキャンバスをめざしてキャンバスの整備にあたることになった。今回の行事を企画した中央廃液処理施設の正藤助教授は「五年後のキャンバスの変遷を楽しみに、頑張ります」と語つている。

駆けたがりの功績により化学工学会研究賞と内藤雅喜記念賞を受賞した。

また藤谷健(ふじたに・つよし)名誉教授も、

「教育内容の体系的研究をとおした化学教育振興への貢献」で日本化学会化学教育賞を受賞した。

本学のほか東広島市や近畿大学など九团体

構成する学園都市づくり交流会議では、このほどひがしひろしまぐる「ぶがガイド」を刊行した。

このガイドブックは、從来ばらばらであった各種サークルなどのなんでもガイドとなつており、文化系一〇〇団体、体育会系四十八団体が掲載されている。

吟詠や大正琴、三味線、民謡などの邦楽団体や地元の次郎丸太鼓、森川流鉦太鼓などの太鼓のグループ、また、音楽ボランティアのグループやカラオケ同好会などが、アウトドアと一緒に、佐竹製作所会長に紹介褒章の伝達を行つた。

これは昨年十一月に佐竹会長が広島大学に赴き、佐竹代表取締役会長に紹介褒章の伝達を行つた。この会は昨年十一月に佐竹会長が広島大学における学生教育と学問研究に対して、幾らかでも支援できれば幸いであるとの趣旨で一千万円の私財を寄付。その功績に対して、紹介褒章が授与されたものである。

なお、まだガイドブックを作成の事務局となつた東広島市企画課の松島主事は「大学生のサークルの中には技能的かなり高いサークルもあり、また市民の中には積極的に学生と交流したいと

いう声も聞かれます。この冊子を見て、「一緒に練習をしたい」、「出張公演してほしい」など市民と学生の交流が多く生まれることを願っています」と語つている。



わいわいたのい「ぐるーぶガイド」発行

本学のほか東広島市や近畿大学など九团体構成する学園都市づくり交流会議では、このほどひがしひろしまぐる「ぶがガイド」を刊行した。

このガイドブックは、從来ばらばらであった各種サークルなどのなんでもガイドとなつており、文化系一〇〇団体、体育会系四十八団体が掲載されている。

吟詠や大正琴、三味線、民謡などの邦楽団体や地元の次郎丸太鼓、森川流鉦太鼓などの太鼓のグループ、また、音楽ボランティアのグループやカラオケ同好会などが、アウトドアと一緒に、佐竹製作所会長に紹介褒章の伝達を行つた。

これは昨年十一月に佐竹会長が広島大学に赴き、佐竹代表取締役会長に紹介褒章の伝達を行つた。この会は昨年十一月に佐竹会長が広島大学における学生教育と学問研究に対して、幾らかでも支援できれば幸いであるとの趣旨で一千万円の私財を寄付。その功績に対して、紹介褒章が授与されたものである。

なお、まだガイドブックを作成の事務局となつた東広島市企画課の松島主事は「大学生のサークルの中には技能的かなり高いサークルもあり、また市民の中には積極的に学生と交流したいと

いう声も聞かれます。この冊子を見て、「一緒に練習をしたい」、「出張公演してほしい」など市民と学生の交流が多く生まれることを願っています」と語つている。



佐竹代表取締役社長が代理受領

佐竹製作所会長に紹介褒章を伝達

原田学長は、四月九日、佐竹製作所広島本社に赴き、佐竹代表取締役会長に紹介褒章の伝達を行つた。

これは昨年十一月に佐竹会長が広島大学における学生教育と学問研究に対して、幾らかでも支援できれば幸いであるとの趣旨で一千万円の私財を寄付。その功績に対して、紹介褒章が授与されたものである。

会なども掲載されており、市民と学生との格好のサークル案内となつていて。体裁はA4判一枚ページで二〇〇〇部印刷された。



旧校舎の解体工事、急ピッチ

一 東千田キャンパス

一九〇二(明治三五)年、国泰寺村(現東千田町)の紹畠に広島高等師範学校が建設され以来約九〇年経た今日、至る所で旧校舎の解体工事が進んでいる。

國書館、文学部、法学部、経済学部、理学部、二号館などの校舎はすでに解体され、現在、総合科学部と体育館の解体工事が進んでいる。解体された場所には木々が何ごともなかつたかのごとく若葉を茂らせ、ゆく住の移り変わりを感じさせる光景となつていて。

「かくすく君葉を茂らせ、ゆく住の移り変わりを感じさせる光景となつていて。」

りを感じさせる光景となつていて。

りを感じさせる光景となつていて。